

2021年度教育ネットワーク中国第1回研修会（SD）開催報告

1. テーマ 「これからの中大運営～中大職員のつながり～」

2. 日 時 2021年6月5日（土）13:00～17:00

3. 形 式 ZOOMを利用した遠隔開催

4. 対象者 今年度の新任職員および概ね入職5年以下の職員

5. 内容

13:00～13:05 開会

13:05～13:10 趣旨説明

13:10～14:10 講演「大学教育の質的転換と教職員力」

　　教育ネットワーク中国事務局長 脇本 修自

14:10～14:20 質疑応答

14:20～15:00 グループワーク①

15:00～15:10 休憩

15:10～15:40 グループワーク②

15:40～16:40 グループワーク③

16:40～16:55 グループ代表発表

16:55～17:00 まとめと講評・閉会

6. 参加者について

47人参加（申込者数48人）

近畿大学工学部1名、広島経済大学5名、広島工業大学13名、広島国際大学4名
広島修道大学12名、広島女学院大学1名、広島文化学園大学4名、安田女子大学7名

ほか、研修委員5名、事務局2名

7. アンケート（別紙）

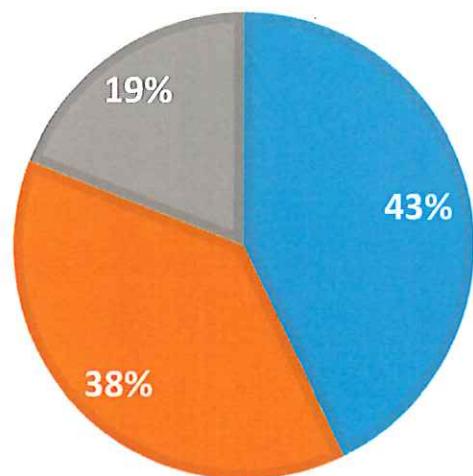
教育ネットワーク中国 2021年度第1回研修会 新任職員研修会アンケート

42名回答

①講演会について

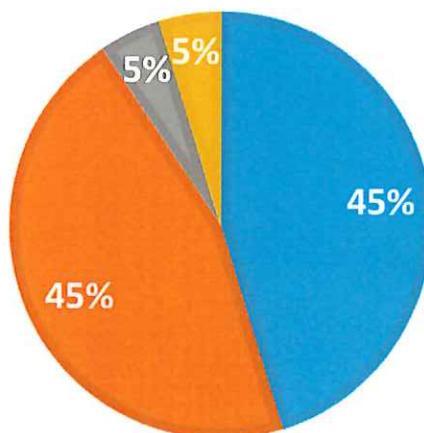
①内容について

■やや満足 ■満足 ■ふつう



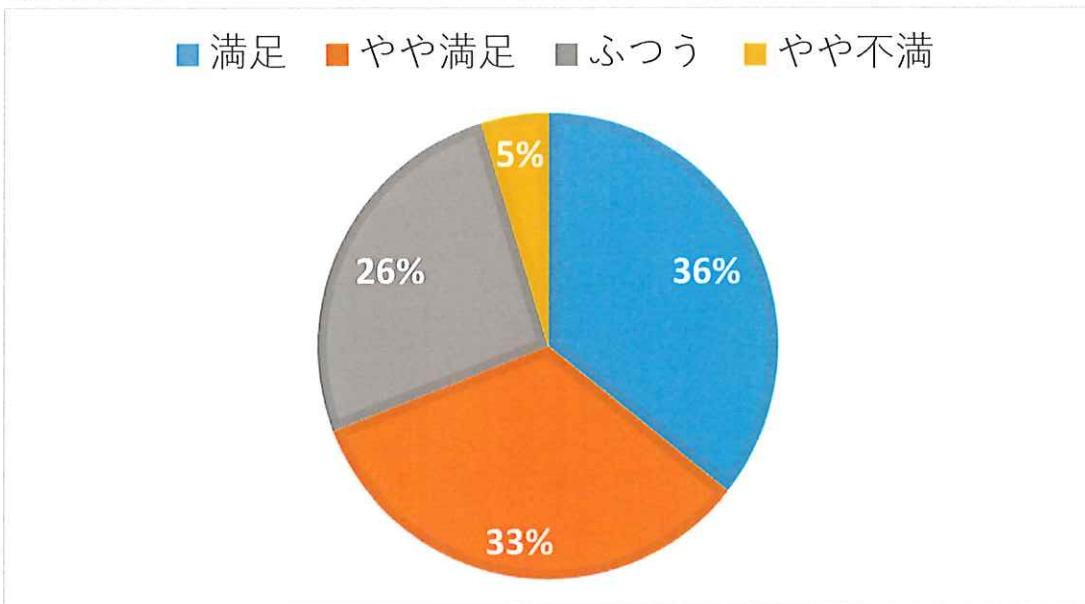
②時間について

■ 適当 ■ やや長い ■ やや短い ■ 長い

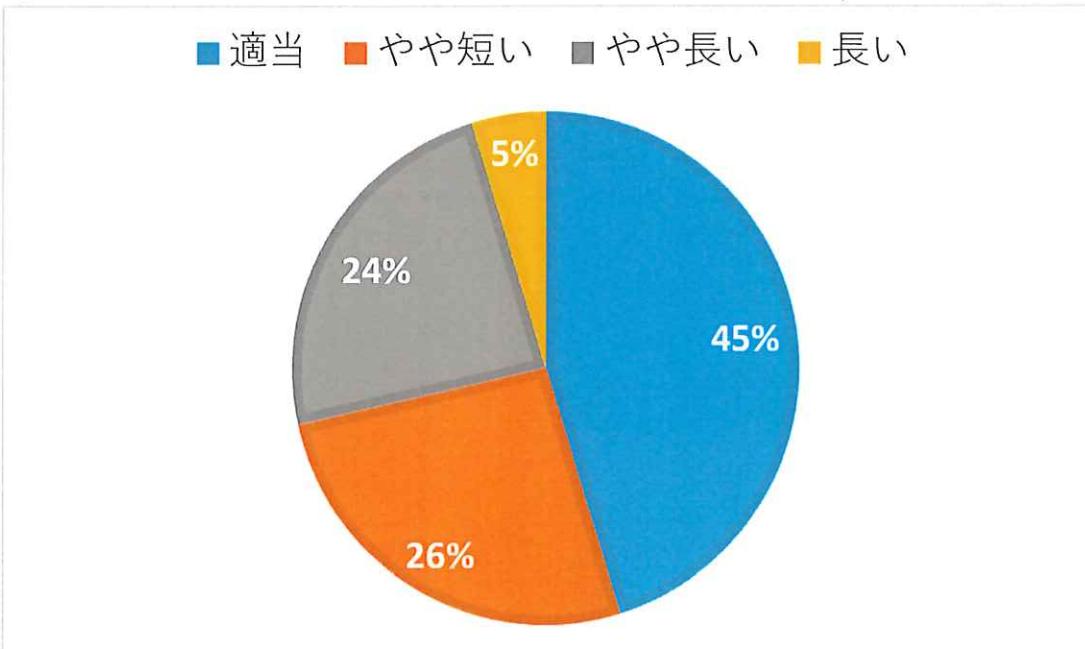


II グループワーク②について

①内容について



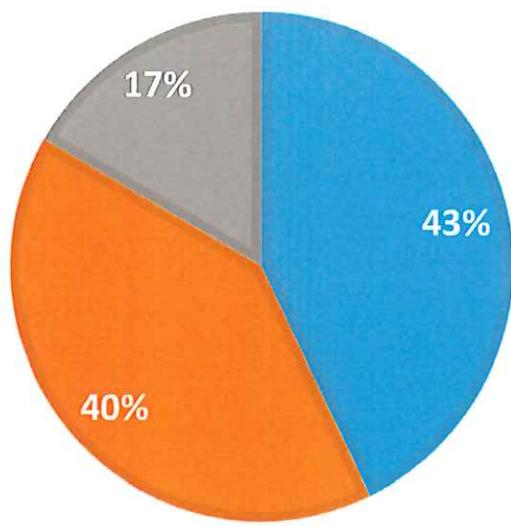
②時間について



III グループワーク③について

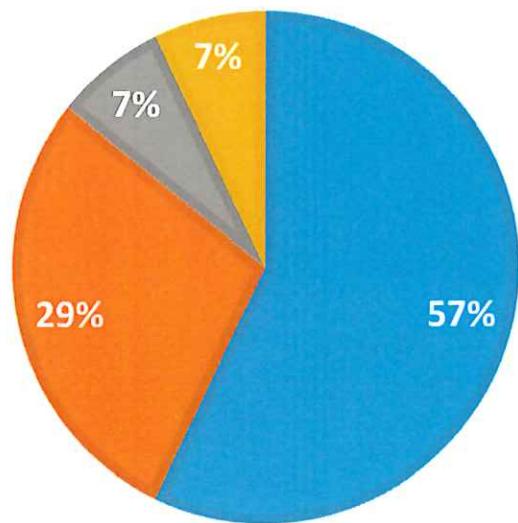
①内容について

■満足 ■やや満足 ■ふつう

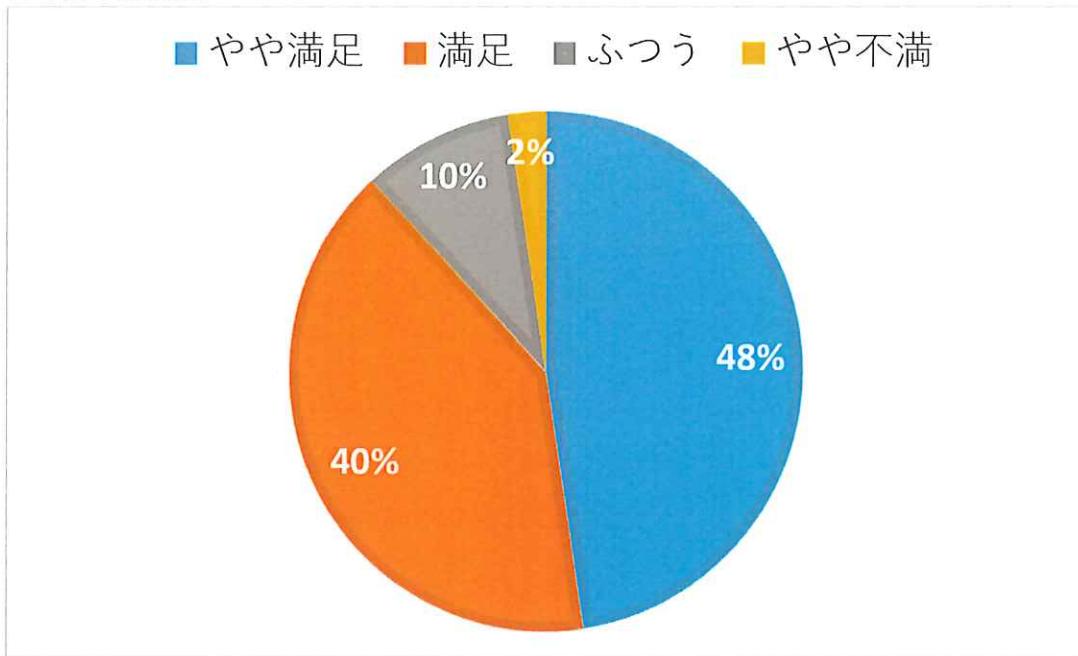


②時間について

■ 適当 ■やや長い ■やや短い ■長い



IV 本日の研修会について



自由記述

講演会について
教職員のスタッフ力の強化の話をもう少し聞きたいと思いました。
脇本事務局長のご講演は、文科省等の資料の要点をまとめられており、資料も含め、分かりやすかったが、少しボリュームが多く、入職2年目の立場からすると理解が追いつかない部分もあった。
大学教育についての課題をわかりやすく講演していただき、とても勉強になりました。
時には、自分の大学がどのような取組みを行っているかを考えながら聞くことができたので、今後の参考にもなりました。これからどんどん社会が変化していく中で、それに適応していくためにも、しっかりと今後の大学教育について考えていく必要性を感じました。
近年の大学を取り巻く状況について、大変分かりやすくご講演いただき、理解が深りました。
大学がどういった課題をもってこれから時代を進む必要があるか、そのために何が必要かについて改めて認識する部分も多く、大変勉強になりました。ご講演いただきありがとうございました。
他大学の方と情報共有できたことがうれしかったです。
大学運営の今を知るという意味ではとても勉強になりました。大学間のつながり促すという目的があるとしたら、抽象度が高く、そのようには働かなかったと思います
教職協働に向けて、職員力を向上していこうと思った
教職協働や今後の大学の目標について知ることができ、よかったです。ただ、教職協働がそもそも何なのか、当たり前がわからなかつたため、私が勤める大学が教職協働となっているか分からなかった。
・各大学の職員の方々とお話しする機会ができてとてもよかったです。
時代の変化に伴い、大学職員に求められる仕事や能力も変化しているのだと知った。その中で、学生に教育の質と満足度の向上に努めるために、教員と職員が同じ目標を持ち、達成を目指す教職共同の方針が、今後より求められることを知り、部署内外での情報の共有・共通化が大事であることを再認識できた。
もともと重要視していた教職協同の重要性について再認識できました。
2040年グランドデザインについても理解できました。
大学職員として必要な知識を得ることができました。
講演を聴くだけではなく、ところどころで聴講者が考える場面があったため、集中を切らすことなくお話しを聴くことができました。また、職員と教員と両方の立場を経験された講師からの教職協働のお話しを聴けたことは非常に貴重でした。
今までに聞いたことのある事柄が大半だったが、内容について再度確認する良い機会になった。
大学職員としての本質は、日々の業務では理解するのに難しく、こういった研修を通じて勉強させていただけるのはとても有意義であると感じた。しかし、話一辺倒でしたので、リモート環境でも集中しやすいスケジュールであると良かったと感じました。
これからの大学の目指す方向性や大学職員の必要な力を学ぶことができた。
今までいた2部署が、研究支援をメインとする部署・総務部と、直接教育と係る機会が少なかった部署で、大学の教育と関わる機会がなかったのですが、今回の講演を通して、現在の大学教育をめぐる状況・求められていることが理解できました。
今から大学はどの方向に向かっていくかをお話いただき、それに対して私たちがどんな大学にしたいか、そのためには何をしないといけないか創造する機会となりました。大変貴重なお話をありがとうございました。
自身の周囲にしか普段はなかなか目を向けることができずにいましたが、よりよい大学づくり、大学教育に携わる者として、知っておくべき現状、見ておくべき将来のこと、そして職員としてどう自己を省み進んでいくべきか、というところを意識させられたように思います。
取り上げられた講演の内容に対し、時間が短すぎたように感じた。もう少しテーマを絞り込んでいただければ理解が深まるように思います。
講演では、普段はあまり意識していなかった、大学の未来や職員として求められるスキルについて大変多くのことを学びました。
前提知識と準備の不足により、理解を深めることが難しい部分もありましたが、大学職員に求められる能力や指標が分かりました。
これからの大学の課題と改善点をいろいろな視点から知ることができ、とてもためになる講演だった。
今後の大学運営を考える上では、参考になるお話をきかせていただきました。コロナ禍において、より学生からの要望等は多くなっているように感じます。講演のでもありました、学生起点で業務を遂行できるような環境になればよいなと思いました。
今回のように歴史的な流れや文科省の方針等、自身では整理するのが難しいことをまとめていただきとても参考になったため、引き続きこういった内容のものがあれば良いと思う。もう少ししっかり時間があればより理解度が深めていただけたと感じた。
・普段なら聞くことができない貴重なお話だった。

オンライン開催ということでディスカッションの際に、本題に関わる意見だけを交換することができた。他者が発言している時に、別の人気が発言すると聞き取れなくなるため、一人一人真剣に耳を傾ける事が出来ていたように思う。
ただ、アイスブレイクの際のようにテーマ無くざくばらんに発言する際には、お互いの遠慮が見え、対面式よりは活発さに欠けたと思われる。
総合的には、無駄な時間が無く有意義に過ごせた。
大学を取り巻く課題の全体像を網羅的に理解できた
時間に対して講演内容が盛りだくさんだったため、駆け足だったのが残念だった。
今後どのような方向で業務を進めていかなければならないか、職員として求められている力を知ることができた。今後の職員生活の指針となるような内容であったので大変勉強になりました。
・聞きなれない単語も多く、自身の知識不足を感じた。
・教職協働に関わって「フリーアドレス」が大学教職員にも取り入れられるかもしれないという話には驚いた。
・今後は、いただいた資料なども読み込み、基礎的な知識を増やしたい。
現在の大学を取り巻く状況や日本の今後の大学教育方針を知ることができて良かった。
また、大学教育に求められる「質」が社会の要請に伴い変化してきていることから、各大学がそれに対応できるか、が今後の日本の大学教育にとって重要になると感じた。
「教員による教育から、学生の自発的・主体的な学修へ」というお言葉がとても印象に残っています。また、今、教職協働が求められる理由や職員として求められる資質について改めて考えることができました。
時代の転換期について、今まで歴史全体で学んできましたが、大学の起源を念頭に置いて講演を聞いたのは初めてだったため、とても勉強になりました。興味のある分野で面白かったです。
英語で省略された用語の意味を知らず、理解できなかった内容があった。職員に求められているものについて理解が深まり参考になった。
経験を積んだ多様な部署の方の深い話を聞くことができ、勉強になった。グループワークのグループ分けが同じような業務の方になっていて意見交換しやすかった。
勉強になりました。
資料に書かれた内容のみの講演だったため、物足りなさを感じた。資料を読んだ上で参加したので新しい学びがなかった。
自分自身が所属する大学のことを知ることが必要だと感じました。

今後の講演で希望する内容	
・業務別研修会	入試を担当しているので、入学定員や設定基準、補助金等の業務に役立つような研修があれば、いいと感じた。
	教職協同について、さらに詳しく聞いてみたいと思いました。
	また、地域性も踏まえた今後の大学教育（広島県内の大学の特性等）についてのお話も聞いてみたいと思いました。
	情報の収集から整理・活用の方法、問題発見法や課題解決法など
	担当業務が同じ人と交流会がしたいです。
	教職協働をより深く知りたい。
・大学職員としての在り方	
・教員を交えて教職協同について語りたい	
・他大学（県外含む）のSDGsの取り組み	教学マネジメントの成功例を具体的な事例を交えながら講演していただきたいと思いました。
	他大学のSDGsや教職協働の取り組みについて具体的な事例紹介。
	今回の講演はさわりの部分のみだったのでより深い内容についての講演を聞きたい。
若手職員による講演会	
	中国地方における大学の状況や、学生からの教育のニーズ、学校教育以外の教育（社会教育や生涯学習）や、地域と大学がどのように関わることができるか等。
	外部資金の獲得と活用の必要性について
	大学によって呼び名は違うでしょうが、対象者を総務と教学に分け、専門スキルを高める機会があれば良いと思いました。
	国公立と私立の違い(組織体制、会計など)について
	教職協働の具体的な事例を聞きたいと思いました。
	今回講演して頂いた内容の1つ、これからの中学校職員に必要な能力についてをもう少し詳しく教えて頂きたい。
	今回の研修は、入職5年以内が参加されているので、学生との接し方など実践業務に近い内容を学ぶことができる内容であれば参加したいです。
	大学職員に最も必要だと考える能力を、様々な立場の方からお伺いしたい。
	SDGs、Society5.0などさまざまな社会情勢を鑑みながらの、大学の新しい収益化モデルの検討について幅広いお立場の方からお話を聞ける機会があれば嬉しいです。
AIなどを活用した業務改善の実践例など	
	大学職員歴が浅い職員向けに、大学教育の基盤はこういうものだというものを講演していただきたい。例えば、DP・AP・CPといった、大学では当たり前に使用されている単語も、単語の意味やそれらを設定する意義、設定の仕方、各大学が特色を生かすためにそれらをどのように運用していくべきかなど、基本的な部分をより詳しく知りたい。
	ポストコロナを見据えた大学教育について。
	歴史から見る、西洋と日本の大学の違いについて詳しく話を聞きたいです。
	経験に基づく大学運営の歴史や、少子化で運営が難しいといわれている現代でも生き残っている大学の特色・取り組みについて
教職協働、各大学の中期計画について	
大学事業におけるマーケティングについて 等	

研修会全体について
・Zoomを使用した研修およびグループワークが始めてで、少し不安はありましたが、スムーズな運営がされており、快適で楽しい研修を受講することができました。ありがとうございました。
・コロナ禍で開催が難しいと思いますが、落ち着いた段階で懇親会等あれば、もっと他大学の方との繋がりもできると感じました。
他大学の方と関わることが、これまでほとんどなかったので、貴重な経験となりました。また、現在のコロナ化での各大学の対応など、詳しく聞くことができたので、今後の参考にしたいと思いました。コロナ化等、想定外の事態が起きている状況ですが、もっと近隣の大学と連携を取合いながら、協力して、乗り越えていける環境があればいいなと強く感じました。せっかくいただいた貴重なつながりですので、大切にしていきたいと思います。
「教職協働について」「困難だと感じた仕事や課題」といったテーマは、今年4月からの着任といった方には難しいテーマだったように感じました。
ただテーマに関わらず、意見を交わし合うことで他大学の方とのつながりを作ることができたことは、大変大きな成果でした。
グループワークに関して、次にどのように進めればよいか、が理解できないままグループワークに入っていたように見受けられましたので、もう少し資料とともにご説明いただけすると把握しやすかったと感じました。
テーマがひとつはっきり決まっていたらありがたかったです。
グループワークの内容はPowerPoint等のスライドに簡単にまとめた方が分かりやすく感じました。自身の無勉強が故ではありますが、貴機関に広島県内のどの大学が所属していて、現時点でどのような横のつながりがあるのか知りたいと思いました。業界界隈も浅いので、とても勉強になりました。
他大学の職員の方とはなかなかお話しする機会がないので、今回の研修会で同じような部署で働く方のご意見は参考になつたし、教職協働も自分の大学が当たり前と思っていたことも、当たり前ではないと知れて大変ためになった。
・講演が資料を読んでいる感じだったのでオンライン形式ということもあります。少しわかりづらい部分がありました。
なかなか他大学との交流の機会がない中で、今を働く同じ大学職員の方々の率直な意見や疑問を話し合うことができたのは貴重な経験になった。
その意見交流の中で、こういった機会がもっと増えたらいいという意見も出たので、今後もこのような貴重な企画を継続していただければと思う。
コロナ禍で様々なるイベントが中止されるなど、学外者と情報を共有し、ネットワークを拡げる機会が少なくなっていたため、非常に楽しく、有意義でした。
他大学の様子を知ることができ、大変参考になりました。有意義な時間になりました。ありがとうございました。
グループワークではブレイクアウトルームに分かれた後具体的にどう進めていけばいいか分からず、時間が流れました。また、大学職員として配属されたばかりの人が多いグループだったので教職協働の状況や問題点を議論するのは難しかったと感じました。
オンラインでの研修会が初めてだったため、話すタイミング等、対面とは違う難しさがあった。複数人が同時に発声すると聞こえづらく、1人1人が順番に話していく、リズムがつかみづらかった。
教職協働の課題は、入職間もないメンバーが多く、あまり明確な答えは出なかったので、あくまで法人経験の年数で課題を入れ替えてもらうと、もう少しスマーズなグループワークが出来たのではないかと思いました。
オンライン開催のため自己紹介の時間が長い方が次にグループワークで発言しやすいです。
新任研修ということでZoomを使い慣れない人がいるかもしれない事前接続テストがあると良いです。
普段の業務を行う上で、他の大学の様子を知る機会がなかなか無かったが、グループディスカッションを通して、同じ業務でも、どの様に処理をしているか、また、どのような課題が生じているかを知ることはできた。
他大学のみなさまとお話することができていい刺激になりました大変有意義な時間でした。ありがとうございました。
グループワークの課題、意見交換をきっかけに自身の大学の教職協働はどうなっているのか意識することができ、また、他大学がどういった動きをしているのか知ることができました。他大学の職員の方と交流することがなかったのでとても新鮮で、お話を聞く中で多くの学びがありました。
グループワークについては、自分も含め、同じグループの他の方も自大学での経験が浅く、意見交換するのに難しいテーマだと感じました。やはり、対面での研修会に参加したかったです。
他大学とのつながりができる大変貴重な機会をいただき、ありがとうございました。雑談なども踏まえ、交流を深めることができました。
グループワークの際に、リード役の方があらかじめ決まっていましたら、進行もスムーズかと思いました。
Zoomによるグループワークでやや不慣れな点もありましたが、新任職員の目線で問題や悩みを共有でき、良い機会となりました。
他校との情報交換が有益でした。
今回のグループは様々な部署の方の話を聞くことができ自分の部署との違いが分かり良かったが、次は同じ部署同士の意見を交換したい。

オンラインでの開催ということもあり、同グループの人としかお話しできなかつたのが残念でした。改めて、対面で実施・情報交換会の意義を感じました。
また、グループワーク内で複数の大学の共通認識として、近隣の都道府県でしか知名度がないということが挙げられており、他大学の学生同士が自発的に広島を盛り上げる活動ができるようなサポートができたら良いと感じました。
話し合いはかなり活発で時間が足りないと感じた。本校は新任が私しかいない状況なので、考えを共有し、それに共感してくれる人がいるのはとても良いと思った。また他大の業務体制等は調べても分からぬことが多い為、多くの大学のことを知ることによって業務改善の参考にもなる。一方で、こういった内容を自身の上司にはなかなかお話ししづらいことや、自身の意見として全体に発信しづらいのも事実。他大学の同部署の上司も交えた意見交換等もあれば様々な視点から新しい考えも生まれていくと考えた。事前課題の「遂行が困難」という文言が少し難しいと感じた。
・初のオンライン研修だったがトラブルがなくて良かった。 ・他グループとの交流ができなかつたのが残念だった。
グループワーク2については時間が足りなかつた。
原因としては、教職協働とはどういった状態なのか、各々の定義、感覚を一致させるところに時間を割いたこと、それぞれの基準でA B C Dに当てはめた際、他校の基準では評価が変わるなど、混乱した部分もあった。
教職協働=意思決定に教員と職員の意見が平等に扱われていることなのか？
教員（あるいは職員）の業務を片方が受け持つことなのか？
呼び名（教員であつても「〇〇さん」）など各々の意識の問題なのか？
大学として「教職協働」を掲げていても、現実に即していなかつた場合、評価をどうつけるのか？等
他大学の方々と話ができる場が持てたのは、入職間もない私としてはとても良い機会でした。このような機会を利用して人脈を広げていけばと思ひます。
研修時間が午後すべてといふのは、少々長い。
Zoomでの研修会ということで、対面とは違ひグループワークでのコミュニケーションが取りにくく状況が多かったです。 (ネットワーク環境や音声の問題等)
また、誰から話をするか質問への返答を返していいものか悩む場面があり、初対面同士であるとなおさらやり取りのハードルが高いと感じました。
また、業務内容が異なつてゐることで会話の内容によつてはグループワークに参加しにくく場面もありました。
・オンラインにも関わらず、スムーズにグループワークができた。 ・他大学の活動やシステムを知ることができて大変面白かった。（SDGsを意識した取り組みを行つてゐる、など）
オンラインでの開催ということもあり、グループワークの進め方が難しかつた。グループでの発言も一部の人に偏つてしまい、進行力不足を感じたので次回機会があれば対面でお願いしたい。
難しいところもあつたが、他大学との情報交換ができたことは有意義だった。特に、業務の引継ぎについては、どの大学でも問題に感じてゐることが分かり、教職協働のネックになつてゐると感じた。今回の研修会で共有した内容がグループメンバーの今後の職務に少しでも役立つことを願う。
グループワークは少し緊張していましたが、終始、和やかな雰囲気で進んでいきとても楽しかつたです。また、他大学の方との交流や意見交換ができ非常に有意義な時間でした。また、どの大学でも同じような課題を抱えていることを知ることができたのも今回の研修での発見でした。この度は、貴重な機会を設けて頂きありがとうございました。
今回は、対面でのグループワークではなかつたため、発言しにくい方がいた様子でした。大学職員になってから日の浅いメンバーが多かつたため、大学全体の問題点というよりは、担当部署の課題などについての話が多かったです。他大学の状況を知ることができ、自大学の良さや弱みが分かり、勉強になりました。
とても充実した内容で、いい刺激になりました。ありがとうございました。
実施時間について、対面での実施と大きく変わらなかつたにも関わらず、体感としてかなり長く感じられ、とても疲れました。慣れないZoomでのグループワークや目の疲れによるものかもしれません。
次回以降、同じような機会がありましたら、休憩時間をもう少しこまめにとる、実施時間をコンパクトにするといった対応について、ご検討いただければ幸いです。
普段繋がりを持つ機会のない他大学の職員の方と意見交換ができる、とても楽しかつた。
今回は入試業務をしている人が多かつたため、オープンキャンパス等の業務の話題が多かつたが、今度は同じ部署の人と話がしてみたい。
初めてのオンラインでの研修会ということで操作や雰囲気に不安があつたが円滑に司会進行していただき、グループワーク発言しやすい環境で、参加して良かったと思える研修会になった。
オンラインはやりにくかったです。
対面の実施であれば時間は妥当だつたと思うが、オンライン開催では時間が長く感じた。また、同グループの人としか交流ができなかつたため物足りなさを感じた。
休日じゃなくて平日に開催してほしい。
他大学の方々が先生や職員とどのように接しているのかを聞けて良かったです。また、情報共有のツールなど、知らない物を知ることができる機会になりました。

グループワークで意見交換したい項目について	
・業務効率化	
・利用しているシステム	
・キャリアイメージなど	
今回、意見交換を行いましたが、他部署との連携や教員との関わり方について、もう少し詳しく聞いてみてもよかったですかなと思っています。	
コロナ化での対応については意見交換ができたのでよかったですなと思いました。	
各大学の特色を紹介しあったり、逆に他大学からその大学はどう見えているか、教えてもらったりすると、違う視点から、各大学の良さや課題が見えてきて勉強になるのではないかと思います。	
このような研修会の目的の1つは、大学間の繋がりづくりや協力体制づくりにあると思います。そういった場合、直接に大学業務に関連するテーマではなく、問題解決法や思考法などのグループワーキングのような楽しみながら取り組める内容もよいのではないかと感じました。	
同様の業務内容を行っている他大学の職員が、どのように業務を進められているかを知りたいという意見がグループワークで多く上がっていました。	
部署でどのようなことをしているか同じ部署の方と、同じ業務を効率よく進めるための秘訣やアイデアについてお話ししてみたい。	
・データ上のファイルのやり取りと、紙媒体でのデータのやり取りの違いとその効率度	
・教員と職員が協力して行っているプロジェクトやイベントについて等	
他大学の業務改善の進展、働き方改革、課題解決型思考の取り組み、課外活動顧問と業務の両立など	
異なる部局で経験年数や年代が同じ方たちとの意見交換もしてみたいと思った。	
問4にあるような、共同企画を考えるような課題であれば、年数関係なく意見交換が出来やすいのではないかと感じました。	
全大学が共通して行なっている業務（学校基本調査への回答など）の各校の取組み方、工夫している点・仕組み。	
入社何年か経って実際にどんな課題を見つけてそれをどのように解決したかを意見交換したいです。	
各大学の特色や強み、そのために職員（教職員）がどのような働きをしているか等。	
コロナ禍における学生募集について、意見交換がしたいです。	
コロナ禍での学内のイベント状況、またその対応	
学生の自発性を伸ばすには、どのようなサポートがあればよいかについて意見交換を行ってみたいです。	
今回のように新人職員の視点から見る違和感や問題点を交換する機会。自身のことしか知らない、知る必要がないと考えることは進歩がないことなので、同じ目線に立てる職員の方と多く交流できたらと思う。	
・各大学の感染症対策	
・ペーパーレス、印鑑レスへの対応	
今回は、各々が持ち寄った日々の実務に関する困難な部分、悩みを同じ業務を進めるメンバーが事例を出し合った。その中から私も含めヒントを得たメンバーは多く、身近な実務から今後の広島県内の私学をどう盛り上げるかといったところまで話が及んだ。	
縦割り色の強い大学業界の中で、自分の業務を客観的に見る時間はとても大切なことで、議題を決めず日々の話や工夫について意見交換できる時間があることが重要かと思いました。	
本日のグループワーク③は、どこの大学職員も類似した悩みを抱えていることがわかり、有意義でした。今日は時間が限られており、悩みの共有程度に留ましたが、テーマを決めて深掘りしてみたい。	
どのような仕事の進め方を行っているか、仕事上で気を付けるべきこと、失敗から学んだことなど初任者同士でも会話が弾むような内容で意見交換をしたかったです。	
・学生対応の際に気を付けていること、実際に起こったトラブルなど	
免許・資格の業務について。申請や学生からの申し出など各大学やり方が異なる部分があると思うので、より効率的にかつ教員や学生が間違えない方法を考えたいため。	
業務の効率化について。	
教員との連携や情報共有について。	
・各大学の取り組みと成功例について	
・引継ぎに関する情報交換、意見交換	
個人的には私学共済業務の担当になっている人と意見交換をしてみたい。また、人事課の採用を担当している職員の話を聞いてみたい。	
現在、教務課なので各大学の業務内容や、分担方法（職員か教員か）	
業務の効率化について	
コロナ下での体制について	
業務内容の意見交換というよりは、大学同士（環境・イメージ等）の意見交換をしたい。	
今回、初任者研修だったため、経験が1~2ヶ月の職員も多く、業務内容も異なっていたため、業務内容の共有は難しかった	
学生への接し方で気を付けていることなど	

今後参加してみたいイベント内容
・大学見学
・広島の大学のみで開催するPRイベントや地域イベントなど
・出向など
他大学の方との交流会（情報交換会）
・業務効率化のアイデア共有
・業務システムの情報交換会
現場の課題をどのように解決していったのか事例紹介や課題意識の共有
実務に近いメンバーで、各大学の業務内容を見学し、意見交換する
・研修会
・それぞれの大学にフォーカスした見学会
地域貢献事業への参加
他大学との繋がりが持てる研修・レクリエーションみたいなのがあれば参加してみたいです。
今回の様なきっちりとした研修のフォーマットも良いですが、横のつながりを作る、という意味でも、もう少しラフなイベント（研修会）を企画してみても良いかもしないと感じました。
・同じ部署、職務内容の他大学職員との意見交換会
グループワークのようなものでなく、雑談会のように意見を交換し他大学の職員とも仲良くなりたい
同年代の職員と交流でき、繋がり（情報共有や相談など）ができるような機会。
・他大学のキャンパスツアーや
他府県からの流入促進のため、広島県内の大学で大学を盛り上げられるようなイベント
現時点では、大学の業務に慣れることが先決のため、もう少し落ち着いてからにしたいと思います。
教職関係の研修会。教育職員免許法も最初に施行されてから何度も法改正があり、複雑になっているため、教職課程を置いている他大学がどのようにカリキュラムを組んでいるかや、卒業生への証明書発行対応について話を聞いてみたい。
コロナが収まつていれば、食事会等をしてみたい。
研修中の発表にもあった、県内の大学に県外から興味を持ってもらえるようなイベント
地域イベントの参加は興味あります。
若手の研修会・イベント等